

令和5年度協働事業提案制度公開事業報告会 結果報告

1 日時

令和5年6月17日（土） 午後1時～午後3時10分
（その後、午後4時30分まで審査作業部会意見取りまとめ）

2 会場

産業会館4階 特別会議室

3 報告会対象者

令和4年度協働事業提案制度実施事業のうち、令和4年度をもって終了した事業（3事業）及び令和5年度が最終年度となる事業（2事業）の実施団体及び事業担当課【合計5事業】

4 参加者

32名

（内訳）団体7名、事業担当課10名、市民フォーラム9名、傍聴者6名

5 審査員の評価

各事業の成果に対し、4項目4段階で評価を行った。

評価項目 事業の有効性、協働の有効性・効果、役割分担の適切性、経費の適切性

評価区分 a：高く評価できる b：評価できる c：あまり評価できない d：評価できない

※評価点は、a=4点、b=3点、c=2点、d=1点と置き換え点数化し、
80点満点（審査員5名×4項目×4点）を100点満点に換算。

No.	事業名	評価点 (100点満点に換算)	主な審査会意見
1	防災意識の普及啓発、持続可能なエネルギーと人の繋がり の活性化事業	90	○協働の視点を取り入れ、行政や自治会等が主催する従来の防災訓練にはなかった切り口でコンテンツ化を図れた点を高く評価したい。 ○今後は、従来の防災訓練の運用改善や若年層の参加者拡大に向けて、行政には当事業の成果や団体のノウハウを効果的に活用していただきたい。
2	オープンデータ活用 促進事業	81	○コロナ禍で制約があったものの、行政が保有するデータの活用に一石を投じる事業であり、コストパフォーマンスの面からも高く評価できる。 ○今後は、データの活用事例等の紹介や公民館での講習会の開催、大学における研究活動での活用など、活動の更なる広がりにも期待したい。

3	市民参加による『さがみはら散歩』作成事業	90	<p>○市民講座発の市民目線で編集されたコンテンツとして学んだことを冊子電子媒体の両方で発信した点が高く評価できる。</p> <p>○今後は、成果物をシビックプライド向上に有効活用し、経費的な課題をクリアした上で、続編の作成も期待したい。</p>
4	「住んでみたいまち相模原」をめざす移住・定住促進事業	95	<p>○協働の意義が大きい事業であり高く評価する。継続に向けた受益者負担の確保策や、地域の他の団体と連携して事業を展開するなど、地域で経済が循環する仕組みも検討していただきたい。</p> <p>○移住者へのアンケート調査等を実施し、事業の評価点などを知ること、今後の事業展開に活かしていただきたい。</p>
5	食品ロスと食の格差解消で、夢と希望が持てるまちづくり	90	<p>○社会的ニーズに応えた意義のある事業であり、今後も団体と行政で適宜協力しつつ事業に取り組んでいただきたい。</p> <p>○事業の継続に向けて、市民活動サポートセンター等を活用した担い手の確保やPR活動を通じた協賛企業の獲得などを検討していただきたい。</p>

以上